

20/12/21 河村たかし名古屋市長定例記者会見（名古屋城部分）

（名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし）

中日新聞：中日新聞の中山ですけど。

今日、市長の会見、今年 2020 年最後になると思うんですけども、よくある質問であります。今年 1 年振り返って、あのコロナ対策、あるいは市政の最重要課題である名古屋城の木造復元、あるいはリニア開業に伴うまち作りなどいろいろな課題がありますけども、そんな課題を踏まえて、市長、今年 1 年、市政どうだったかっていうのをちょっと振り返っていただけないでしょうか。

河村：まああの、私の場合は士農工商を打ち破るとかですね、まあ自分で言うのもなんですけれども、目標がものすごい高いもんだでこれはですね。そういうことから言うと、なかなか、その、という。できんこともあったということになりますけど、点数付ければ、それは 130 点だという気持ちでやっていますけどね。大きいので言えば、やっぱり減税も大きいですよ、これ。毎年、全世帯 1 万円とこれ減税されまして、年間 100 億、110 億ですからもうすぐ。減税の効果が実は倍に表れておりまして、このコロナ禍になってからちょっと数字が出ておりませんので、これはちょっと異常事態ですから、ちょっと分かりにくいんですけど。

通算 10 年で 1000 億減税したら、1000 億増収になったと。減税前から 1000 億だから、下から言うと 2000 億増収になった。いろんな指標で、去年やりましたかね。経済と、それから生活と、文化がちょっとこれ入っておりませんので、観光とか。では、一応 8 大都市だったかな、10 大都市か、で、名古屋がナンバーワンということになっております。ええ、なので、これはやっぱり皆さんに喜んでいただいとるので、欲を言えば切りがないと思いますけども、そう思っております。それから私の 800 万も、本当にやけくそといいますか、痩せ我慢の極みですけど、ちゃんと続けておりまして、ええ、これはこれでようやくやってきたなというふうに思いますね。

まあお城も、まあこれは名古屋 1000 年の計ですので、1000 年先まで、ぜひ木造天守を、日本のために、世界のためにも残したいということで。まああの、課題というか、文化庁からは、議会でも答弁しましたように、まあ前へ進めましょうと。ただ、専門家、学者、専門委員の皆さんとは仲良う、仲良うじゃないけど話をちゃんとまとめて進んでくださいねと。

まあただ、まあ一号ですから、戦争で失った天守閣ってたくさんあるんですわ。十幾つだ、13 だったかな、いっぱいあるんです。その中で、これ、まあこれ第一号になったと。名古屋城は国宝一号ですし、またこのコンクリート天守を造ったやつを復元する第一号ということは、ほんで文化庁からはまあ丁寧にお願いしますわということで進んでおりますんで。

まあだけどわしはまあとにかく、若づくりにしとるけど、もはや72だもんで、ええまあ八事が近づいてまいりましたんで、とにかく早う、早うつくらな見れやせんがやと。のぼれやせんがやというふうに言っとる状況でございますが、まあ大変な苦勞ですわ、これは。ええ。いったんコンクリートで造ってしまったのをですわ、あのやっていくということは。まあコンクリートで造ったときの議事録は、名古屋タイムズに会議録が出ておりますけど、当時の名古屋市長の小林橘川さんと、それから愛知県知事の桑原幹根さんとの対談の中で、名古屋市長は、小林橘川さんはどう言うところかいうと、まあお城はアクセサリーのようなもんだと。ほれ、ほんで、まあ、そうだわ、そうだわ、言ってですわ。まあそういう時代だったわけですあれね。まあ入場料ぐらいは稼げるだろうと。名古屋タイムズの記事の中でお2人の対談が載っております。

ですから、私からすると、当時はそうだったか分からんけど、そんなアクセサリーじゃなくて、名古屋のアイデンティティーの一番根幹をなすそのもんだと、それは。人間で言うと心臓か脳か知りませんが、まあそのようなもんだという認識ですから。だけど、一応、着実なステップで進んでいると。

あとは子どもさんについて、まあ1人のお子さんも死なせない名古屋というのがスローガンですけど、これはなかなかあの、あのあまりしゃべれませんが、苦しい状況があります、またこれは。だけど、さらに1人の子どもさんも亡くさない、それとやっぱ学校が楽しくなる、みんな子どもさんが。学校行くのが面白えと、自分の好きなことをできるがやと、そういうふうに言っていただけのようにね、常勤スクールカウンセラーももう150名を超えて、延べで相談した人が10万人以上になっていますからこれ。これ。こんなのないですから、常勤スクールカウンセラー、名古屋しか。ええ、まあものすげえ応援ができとるんじゃねえかなとまあ思いますが、元気を取り戻した子どもさんのほうは、報道に出ませんので、表に。分かりやせんのですけど、僕は、まだスクールカウンセラーも課題がたくさんありますが、あの皆さんの努力によって、何人かの子どもさんの命が救えたんじゃにあかと。ええ、命ばっかじゃなしに、学校が楽しかったんじゃにあかと、そういうふうに思ってますけど。